



PRESS RELEASE

令和 8 年 2 月 19 日
岡 山 大 学

研究成果講演会「文理融合分析による大型古墳の
総合的研究－吉備の古墳を中心に－」を開催

研究成果講演会「文理融合分析による大型古墳の総合的研究－吉備の古墳を中心に－」を開催します。

本研究プロジェクトは物理学・地質学・岩石学・考古学にまたがる研究者によって、大型古墳の研究と分析のあり方を模索したものです。今回は、ミュオンによる岡山市造山古墳・総社市作山古墳の透視の状況、埴輪の考古学的研究といった考古学研究に加え、岩石学的研究、造山古墳の地質学的研究についても紹介をします。

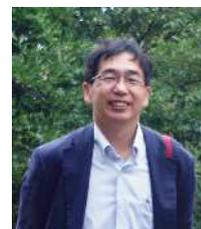
広報方よろしくお願ひします。

1. 名 称 科学研究費基盤研究 S「王陵級巨大古墳の構造分析に関する文理融合型総合研究」研究成果講演会
2. 日 時 2026 年 3 月 8 日（日）13：00～17：00
3. 場 所 岡山大学文化系総合研究棟 2 階共同研究室
（岡山大学津島キャンパス文化系総合研究棟）
4. 対 象 者 一般の方
5. 申 込 不要
6. 入 場 料 無料
7. プログラム
居島薫（山梨大学） 「宇宙線ミュオンによる造山・作山古墳の透視観測の現状」
野坂俊夫（岡山大学） 「吉備の埴輪の岩石学：原材料と焼成温度の推定」
木村理（大阪大学） 「埴輪からみた吉備地域の巨大古墳 －金蔵山・造山・作山古墳－」
鈴木茂之（岡山大学）ほか「考古学・地質学・地盤工学共同研究による 30 年豪雨での造山古墳小斜面崩壊要因の検討」

◆研究者からのひとこと

文理の壁を越えた古墳研究は、苦労も多かったのですが、新たに分かることも多く面白い体験でした。

研究はまだ途上のところもありますが、科学研究費による研究期間も終了したことから、ここで成果公開を行います。たくさんの方のご来場をお待ちしています。



清家教授



PRESS RELEASE

■資金

科学研究費基盤研究 S 王陵級巨大古墳の構造分析に関する文理融合型総合研究
(課題番号 20H05634)

■補足・用語説明

ミュオン：素粒子の一つ。透過性が強いことから、ピラミッドや原子炉などの内部構造を解明することに用いられる。

<お問い合わせ>

岡山大学学術研究院社会文化科学学域

教授 清家章

(電話番号) 086-251-7457

(FAX) 086-251-7457



岡山大学
OKAYAMA UNIVERSITY



岡山大学は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。